



さるびあ丸

第194期 事業報告書

2018年1月1日から2018年12月31日まで



証券コード：9173

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第194期（2018年1月1日から2018年12月31日まで）の当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、見通しが立たない原油価格の動向や当社の航路に影響を及ぼす南岸低気圧・台風の発生などがあり、依然として厳しい状況が続いております。さらに、国内外旅行先としての東京諸島と他地域との競合の激化やレジャーの多種多様化により、観光客の動向は長期的な漸減傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、中期的な事業の活性化策として、当社グループや東京諸島の「強みや魅力」の原点に目を向け、2013年より施策の方向性をスローガンとして掲げ取り組んでまいりました。2018年は「Brand & Toughness 2018 ～未来へはばたけ、東海ブランド!」を掲げて、新しいステージ（2019年当社創立130周年、2020年にジェットフォイル・貨客船の新造船就航）に進んでいくために、東京諸島の豊かな自然の魅力を一層広め、1人でも多くのお客様にお越しいただき、リピーターとなって長期滞在していただけるよう、チャレンジしていく年度として、グループ全社で活動を続けてまいりました。しかしながら、1月下旬より3月にかけて開催された大島の最大イベント「椿まつり」においては、全国的な寒波の影響を受けて、団体客・個人客の出足は鈍く、また4月から6月の間においても、度重なる天候不順により、観光客数は大幅に減少しました。夏場の最多客期には、営業活動と宣伝活動を拡大し、強化を図ったことにより、台風の影響は受けたものの、東京湾納涼船を除く定期航路の旅客数は前年並みを確保いたしました。秋以降は企画商品を中心に営業展開を図り、また比較的天候にも恵まれたことなどにより、旅客数は前年を上回りました。

この結果、当連結会計年度の業績は、旅客部門において旅客数が減少しましたが、燃料油価格変動調整金収入の増加により、売上高は114億5千9百万円（前期114億4千2百万円）、費用面で原油価格の上昇に伴う船舶燃料費の大幅な増加があり、営業利益は1億3千1百万円（前期5億2千3百万円）、経常利益は1億7千7百万円（前期5億5千4百万円）、税金費用などを計上した後の親会社株主に帰属する当期純利益は1億4千8百万円（前期3億9千3百万円）となりました。

また、個別業績につきましては、売上高は93億7千9百万円（前期92億7千3百万円）、営業利益は1億2千8百万円（前期4億1千万円）、経常利益は1億7千7百万円（前期4億6千1百万円）、税金費用を計上した後の当期純利益は1億4千5百万円（前期3億3千8百万円）となりました。

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、財務体質の向上を図りながら、内部留保の充実にも留意しつつ、安定配当の維持に努めることを利益配分の基本方針としております。

2018年12月期の当社の期末配当につきましては、配当予想を未定としておりましたが、今後の事業環境や企業基盤の強化のための内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり20円の配当を実施する方針といたしました。

今後のわが国の経済は、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、海外経済の不確実性や消費税率の引き上げの影響など、先行きは不透明な状況が続くものと見られております。当社グループにとりましては原油価格の動向や、為替相場の変動、気象海象条件など、引き続き厳しく、予断を許さない環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」のもとに、次期については、新しいステージに向かって、「東京の島」のきれいな海や山などの豊かな自然と「プラネタリアム・アイランド」として注目されている星空の魅力の発信に注力し、観光需要の掘り起こしに努めてまいります。また、安全確保は最大のサービスであるとの基本意識に立ち、関係法令を遵守し、安全マネジメント態勢の下、安全最優先に全力をあげて取り組みます。なお、2018年に当社は安全性向上に積極

的に取り組んでいると評価され、運輸安全マネジメント優良事業者等表彰「大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官表彰」を受賞いたしました。

主力事業分野である海運関連事業のうち、旅客部門は新規の顧客開拓とリピーターの確保に継続して取り組み、よりお客様のニーズに合った「東京の島」ならではの企画商品の造成に努めてまいります。大島の最大イベント「椿まつり」においては、引き続き「国際優秀つばき園」と伊豆方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を図ります。また、2018年8月に神戸市で開催された「第10回全国高等学校観光選手権大会」(通称「観光甲子園」)において、都立大島高校チームの大島の椿をテーマにした観光プランが訪日部門で観光庁長官賞金賞(準グランプリ)を獲得いたしました。この観光プランを参考にした新たな企画商品を旅行会社と連携し造成してまいります。臨時航路では、需要の強い千葉港と江の島を軸にさらなる旅客の獲得を目指すとともに、訪日外国人利用客の集客活動に努めて乗船客の増加と増収を図ります。一方、東京湾納涼船は、幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただける船内空間を創出してまいります。また、貨物部門では、顧客満足度の向上を目指して、貨物輸送のホームページ上で、各種問い合わせに対する自動応答システムの導入や運賃のシミュレーション、生鮮食品の受付状況の案内など、お客様の利便性向上と集荷効率の引き上げを図り、引き続き貨物輸送の品質管理向上に努めてまいります。

商事料飲事業は販売力の強化に取り組んでまいります。中心となる商事部門は島内外の取引先との連携をさらに密にして情報共有を図り、営業活動につなげていくとともに、新たな収益となる事業の拡大を目指してまいります。また、料飲部門では、東京湾納涼船でグループが利用するパーティープランや模擬店での売上増加に努めるほか、竹芝客船ターミナルにある大島の郷土料理が味わえる飲食店「艦甲艦(べっこうずし)」での新メニューの開発や貸切パーティーの営業など、近隣オフィスの利用者の開拓にも力を注いでまいります。

レストラン事業の東京湾周遊の東京ヴァンテアングルーズは、利用客数の増加に努めてまいります。竹芝・浜松町地区再開発のビッグプロジェクトや2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を追い風に、営業活動と宣伝活動を拡大し、強化を図ります。また、引き続き船内サービスのさらなる向上に取り組んでまいります。

ホテル事業については、大島の豊富な海の幸の料理・高品質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望やホテル屋上に星空を観望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動をさらに強化し、宿泊客の増加による稼働率の向上を目指してまいります。また、引き続き旅客部門との連携による企画商品の充実やサービスの向上を図ります。

旅客自動車運送事業では、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、引き続き安全運行に努めてまいります。「椿まつり」は「国際優秀つばき園」を巡るコース、初夏には「大島あじさいツアー」などの季節の人気定番商品のほか、大島のパワースポットや、フォトスポットである通称「バームクーヘン」と呼ばれている「地層大切断面」へ案内するバスツアーなどを加えて企画商品の充実を図り、団体利用客や定期観光バス、路線バスの年間を通した利用客の増加を目指してまいります。

以上のとおり、各部門に亘って業績向上を図るため、一層の努力をいたす所存であります。株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対し、従来と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山崎潤一

連結決算ハイライト 第194期（2018年1月1日～2018年12月31日）

連結売上高

114億59百万円
(対前期比0.2%増)

連結営業利益

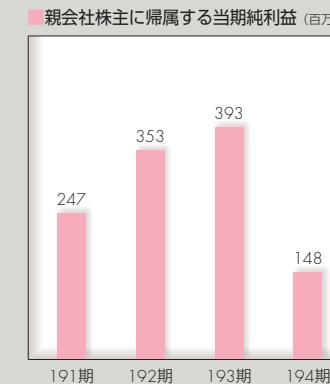
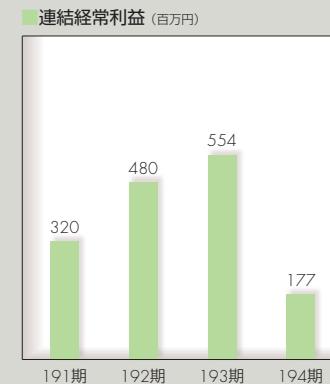
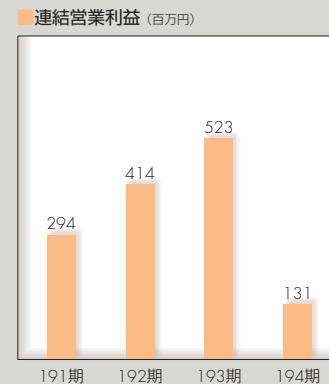
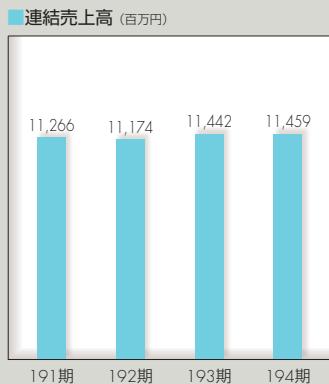
1億31百万円
(対前期比74.9%減)

連結経常利益

1億77百万円
(対前期比68.0%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

1億48百万円
(対前期比62.3%減)



海運関連事業

売上高
8,581 百万円
(対前期比 0.4%増)

営業利益
498 百万円
(対前期比 41.2%減)



主力の海運関連事業の旅客部門は、東京諸島の島や海などの豊かな自然と「東京の島」ならではの企画商品を造成し、営業活動に取り組みました。臨時航路では、「船旅活性化モデル地区」の運用などで、千葉港を軸に大島への旅客数の増加に繋がりました。さらに、大島の最大イベント「椿まつり」においては、大島町と連携し、2016年に認定された「国際優秀つばき園」と伊豆方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を図りました。しかしながら、年初からイベント期間の中盤までにおける全国的な異常気象の寒波と、それによる伊豆方面の花のイベントの来場者数が減少したことも影響し、団体客・個人客の出足は鈍く、観光客数は大幅に減少しました。また、4月から6月の間においては、東京都の観光助成金を活用した企画商品の販売や東京諸島の魅力を発信するイベント「島じまん2018」での各島関係機関と連携したPR活動などで巻き返しを図りましたが、度重なる天候不順により、観光客数は伸び悩みました。夏場の最多客期には、「プラネタリアム・アイランド」として注目されている東京諸島の星空をテーマにしたキャンペーン展開の取り組みに加え、旅行会社とより一層の連携を深めて営業活動を強化したことにより、台風の影響は受けたものの、東京湾納涼船を除く定期航路の旅客数は前年並みを確保いたしました。一方、東京湾納涼船は、プロジェクトマップやグループで利用しやすいパーティープランの設定などで幅広い客層の集客に努めましたが、計画した乗船客数には届きませんでした。秋以降は添乗員が同行する大島三原山ハイキングプランなどの日帰り企画商品を中心に、安心とお手軽さをアピールした旅行の営業展開を図り、また比較的天候にも恵まれたことなどにより、旅客数は前年を上回りました。この結果、全航路の旅客数は85万5千人(前期88万3千人)となりました。また、貨物部門は、各島の公共工事等の動向を注視し、集荷に遺漏がないよう取り組みましたが、一部の島において公共工事の終了に伴い輸送量が減少し、貨物取扱量は全島で28万4千トン(前期28万8千トン)となりました。

この結果、旅客数、貨物取扱量ともに減少しましたが、燃料油価格変動調整金収入の増加により、当事業の売上高は、85億8千1百万円(前期85億4千3百万円)、費用面で原油価格の上昇に伴う船舶燃料費の大幅な増加があり、営業利益は4億9千8百万円(前期8億4千7百万円)となりました。

商事料飲事業

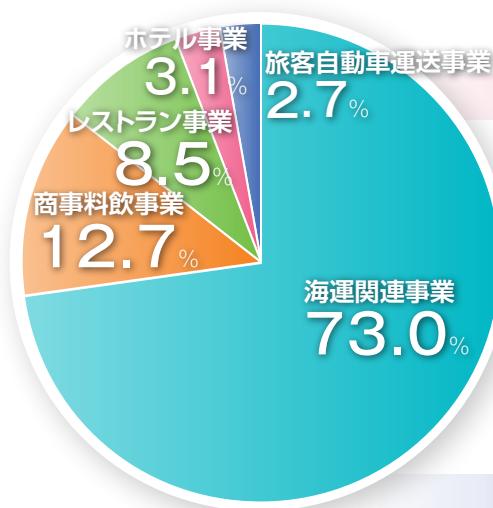
売上高
1,486 百万円
(対前期比 1.0%増)

営業利益
125 百万円
(対前期比 0.2%増)

当事業の中心となる商事部門は、島内外の取引先との連携を密にして情報共有を図ったことにより、島嶼向け建設資材やタイヤ、都内水族館向け海水などの販売が好調に推移しました。一方、料飲部門は、東京湾納涼船の乗船客数が伸び悩み、売上が減少しました。この結果、当事業の売上高は14億8千6百万円(前期14億7千2百万円)、営業利益は1億2千5百万円(前期1億2千5百万円)となりました。



売上高 構成比



レストラン事業

売上高
1,003 百万円
(対前期比 2.6%減)

営業利益
24 百万円
(対前期比 29.9%減)

東京湾周遊のレストランシップ事業の東京ヴァンテアンクルーズ(2018年12月に創立30周年)は、お客様のニーズに合った企画商品を造成して営業活動に取り組んだことにより、団体客・個人客ともに増加し、全クルーズでの利用客数は12万人(前期11万7千人)となりました。しかしながら、全クルーズでの利用客数の内、単価の高い婚礼客は伸び悩み、売上が減少しました。この結果、当事業の売上高は10億3百万円(前期10億3千万円)、営業利益は2千4百万円(前期3千4百万円)となりました。



ホテル事業

売上高
365 百万円
(対前期比 1.8%増)

営業利益
△8 百万円
(対前期比 -%)

大島温泉ホテル事業は、大島の豊富な海の幸の料理・高品質の源泉掛け流し温泉やホテル屋上に星空を眺望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動に努めて、「椿まつり」期間中から年間を通して宿泊客は好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は3億6千5百万円(前期3億5千8百万円)となりましたが、費用面で施設整備費用などの増加があり、営業損失は8百万円(前期営業利益1千4百万円)となりました。



旅客自動車運送事業

売上高
313 百万円
(対前期比 2.9%増)

営業利益
△27 百万円
(対前期比 -%)

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、安全運行に努めてまいりました。「椿まつり」は「国際優秀つばき園」を巡るコース、初夏では「大島あじさいツアー」などの企画商品、夏期には海水浴場への路線バスの運行、秋以降は「三原山ハイキングプラン」などで団体客・個人客の獲得に注力いたしました。この結果、当事業の売上高は3億1千3百万円(前期3億5百万円)となりましたが、費用面で車両整備費用などの増加があり、営業損失は2千7百万円(前期営業損失1千8百万円)となりました。なお、定期路線バスにおいては、大島町からの継続的な支援を受けております。



■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2018年12月31日現在)	前期 (2017年12月31日現在)
●資産の部			
流動資産		3,906	3,701
固定資産		11,981	10,719
有形固定資産		9,901	8,728
無形固定資産		129	95
投資その他の資産		1,950	1,896
資産合計		15,887	14,421
●負債の部			
流動負債		3,121	2,874
固定負債		7,418	6,237
負債合計		10,540	9,112
●純資産の部			
株主資本		5,108	5,004
資本金		1,100	1,100
剰余金		4,018	3,913
自己株式		△9	△9
その他の包括利益累計額		116	152
非支配株主持分		123	152
純資産合計		5,347	5,309
負債純資産合計		15,887	14,421

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	前期 (2017年1月1日から 2017年12月31日まで)
売上高		11,459	11,442
売上原価		10,001	9,546
売上総利益		1,457	1,896
販売費及び一般管理費		1,326	1,372
営業利益		131	523
(営業外収益)		135	121
(営業外費用)		89	91
経常利益		177	554
税金等調整前当期純利益		177	554
税金費用		46	158
当期純利益		130	395
非支配株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)		△17	2
親会社株主に帰属する当期純利益		148	393

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	前期 (2017年1月1日から 2017年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		348	1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,845	△1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,572	△146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		75	△28
現金及び現金同等物の期首残高		1,593	1,622
現金及び現金同等物の期末残高		1,669	1,593

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

12月31日現在および6月30日現在の100株以上ご所有の株主各位に次の通り株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

■権利確定日および有効期間等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		↑				↑		↑			↑
		株主優待発送 (有効期限：4月1日～9月30日)				権利確定日			株主優待発送 (有効期限：10月1日～翌年3月31日)		権利確定日

株主乗船割引券

●発行方法

所有株式数	100株～199株	200株～399株	400株～599株	600株以上
発行枚数	10枚	20枚	30枚	40枚

●優待内容

- ・全航路の全等級について、お一人様乗船一区間につき乗船割引券1枚にて所定運賃の35%引(7月、8月のご乗船は25%引)とします。ただし、島嶼において同日に同一方向の他の船に乗り継いでご利用になる場合に限り一区間として発売します。この場合、区間内の乗船券を同時にご購入下さい。
- ・東京湾納涼船(2019年6月28日～2019年9月23日運航)について、**大人お一人様乗船割引券1枚にて1,000円でご利用いただけます。**但し、中高生料金、小学生料金の割引はありません。
- ・有効期間内に乗船券をご購入下さい。

株主サービス券

●発行方法

- ・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

種類	内容	枚数
東海汽船 企画旅行15%割引券	東海汽船(株)が企画・実施する旅行商品(日帰り・宿泊とも)を15%割引でご利用いただけます。但し、特別プラン、延泊ならびにオプション(タクシー観光、バス観光、レンタカー、ダイビング、各種体験等)は対象外となります。	各5枚
大島温泉ホテル 宿泊50%割引券	大島温泉ホテルをご宿泊(1泊2食付)基本料金の50%割引でご利用いただけます。	
大島温泉ホテル 朝食休憩割引券	大島温泉ホテルの温泉ご入浴と朝のお食事ができる休憩料金(通常料金おとな：2,000円・こども1,600円)を500円割引(こども300円割引)にてご利用いただけます。	
レストランシップ 「ヴァンテアン」30%割引券	レストランシップ「ヴァンテアン」の各クルーズセット料金を30%割引でご利用いただけます。	
東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券	竹芝客船ターミナル内売店「ショップ竹芝」、大島元町港・岡田港船客待合所内売店、大島温泉ホテル内売店、レストランシップ「ヴァンテアン」船内ロゴショップにて、お買い上げ金額の15%割引でご利用いただけます。ただし、切手や印紙類・新聞書籍・酒類・煙草・その他一部商品を除きます。	
竹芝客船ターミナル内 レストラン「鱈甲鯨」割引券	竹芝客船ターミナル内レストラン「鱈甲鯨」のランチメニュー・島島弁当を200円割引にてご利用いただけます。ただし、お飲み物・サイドメニュー等は割引対象外となります。	
大島島内路線バス 1日・2日乗車券割引券	大島島内で運行する路線バスが乗り降り自由となる1日乗車券(通常料金おとな2,000円・こども1,000円)をおとな1,800円・こども900円にて、2日乗車券(通常料金おとな3,000円・こども1,500円)をおとな2,700円・こども1,400円にてご利用いただけます。	

■会社概要 (2018年12月31日現在)

商号	東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
本社	東京都港区海岸1丁目16番1号
創立	1889年11月15日
資本金	11億円
従業員数	342名

■株式の状況 (2018年12月31日現在)

発行可能株式総数	880万株
発行済株式の総数	220万株
株主数	6,512名

■大株主 (2018年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	446千株	20.32%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	51千株	2.32%
三菱重工業株式会社	50千株	2.27%
JXTGホールディングス株式会社	50千株	2.27%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
東海汽船従業員持株会	31千株	1.44%
株式会社恵興	23千株	1.04%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (5,059株) を控除して計算しております。

■役員 (2019年3月26日現在)

代表取締役社長	山崎潤一
専務取締役	石川寛治
取締役	齊藤昌哉
取締役	石渡恒夫
取締役	若林英一
取締役	横田清美
取締役	櫻井薫
常勤監査役	鈴木正
常勤監査役	牧野龍裕
監査役	池田雄二郎
監査役	宇田川秀人

ホームページのご案内



<https://www.tokaikisen.co.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますのでぜひご利用下さい。また、船の時刻、運賃、当社企画旅行情報、各島の情報を当社SNS等で公開しておりますので、併せてご利用下さい。

■株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
基準日	12月31日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL http://www.tokaikisen.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。

■株式に関するお知らせ

「特別口座」について

株券電子化に際して、株主様が証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかったご所有の当社株式は、みずほ信託銀行にて開設した特別口座 (※) にて管理されています。特別口座においては、株式を売買することができない (単元未満株式の買取を除く) など、株主様にご不便をおかけすることがあります。お手続きを円滑に行うためにも「特別口座」から「証券会社等の口座」へのお振替申請をお勧めいたします。(予め証券会社等での口座開設が必要です。)

振替手続の申請、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。
(※) 「特別口座」とは、株券電子化に伴い、証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかった株券について、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

単元未満株式の買取について

当社では、証券市場で株式を売買できる取引単位を100株単位 (1単元) とさせていただいており、単元未満株式 (1~99株) は証券市場においては売買することができません。そこで、株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取らせていただく制度がございます。単元未満株式をご所有の株主様は、この制度のご利用をご検討いただきますようご案内いたします。買取制度のお手続にあたっては、所定の手数料 (会社が定める買取手数料) が必要となります。単元未満株式買取制度のご利用、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

お問合せ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

☆本ご案内 (ご説明) は、株式に関する諸手続についてご案内 (ご説明) するものです。特定の証券会社との取引勧誘や単元未満株式の買取請求の勧誘を目的とするものではありません。お振替、単元未満株式買取請求に関しては、株主様ご自身にてご判断いただきますようお願い申し上げます。

1月 ヴァンティアン水上観光船2位!!
旅行新聞社主催、全国の旅行会社の投票による“第1回プロが選ぶ水上観光船30選”で、2位に入選しました。



1月 [LIVE JAPAN Awards 2018] 体験部門TOP3!
多くの訪日・在日外国人に利用されている観光情報サービス“LIVE JAPAN”にて、この一年間で外国人が満足した体験部門で東海汽船がTOP3に選ばれました!



6月 観測開始以来初の6月梅雨明け発表と同時に東京湾納涼船2018がオープン!!

今年はCデッキレストランに海底イメージのイラストボードに、プロジェクターで泳ぐ魚を投影し海中の様子を演出しました。



1月 伊豆大島椿まつり オープニング 江戸神輿ツアー

第63回伊豆大島椿まつりのオープニングに合わせて開催されました。元町の街中を神輿を担いでまわり、大変賑わいました。



5月 5/9 橘丸非常事態対応訓練

貨客船および高速ジェット船を使用した、津波警報発令に対する避難・誘導等の訓練を、東京港内にて行いました。



6月 東海汽船ウェブサイトリニューアル

スマートフォン対応化とデザインを一新し、親しみやすく訪問者が利用しやすいナビゲーションに仕上がりました。

2-5月 ジェット船の臨時航路を各地で運航!

2~5月にかけて、千葉、江ノ島、木更津、大井川、焼津から伊豆大島、式根島、神津島などへ臨時運航しました。今後もお客様へ島の魅力をお届けできるよう新たな航路の開拓に取り組んで参ります。



7-9月

アニメ「ISLAND」声優と高速ジェット船 船内アナウンスでコラボ!

船内誌「VOYAGE」の表紙も、アニメのエンディングソングを歌う、歌手の亜咲花さんが登場!

9月 貨物ページをリニューアル!

貨物料金をシミュレーターで簡単計算できるようになりました。



10月

運輸事業者の模範となる取り組みが評価され、国土交通省 大臣官房より、「危機管理・運輸安全政策審議官表彰」に選定されました。



11月

2020年の夏に就航する新造船の特設サイトをオープン!

造船に関する情報を随時発信しております。



12月

創立129周年を記念し、鼈甲館にてトークイベントやミニライブを行い、3日間で100名以上のお客様にお越しいただきました。



島ナビVOL.5

三宅島

面積 55km²
周囲 38km
東京竹芝より約180km



伊豆岬灯台
1909年に建造された純白のランプ式無人灯台は珍しい角柱形の灯台です。天気の良い日は新島、神津島や遠く富士山を望むこともできます。



大路池
約2000年前にできた周囲2キロの火口湖跡。周辺には照葉樹林が生い茂り、たくさんの野鳥に出会うことができます。



火山体験遊歩道
1983年の噴火で流出した溶岩によって埋没した阿古地区19ヘクタールに及び溶岩原には旧阿古小・中学校や約400戸の民家が埋没しており、その様子を間近に見学できる遊歩道が整備されています。



おかげさまで就航30周年



2019年10月23日(水)「レストランシップ・ヴァンテアン」は、就航30周年を迎えます。

1989年、私たちは「特別な日は、海の上で。」をキャッチフレーズに、運航を開始いたしました。
 季節の食材をふんだんに使用したフレンチ料理と、時間とともに表情を変える東京湾の大パノラマ。
 これからも「レストランシップ・ヴァンテアン」は皆様には非日常をお届けいたします。

建造中のヴァンテアン号



就航当初のワイン



就航時のセレモニー



2018年



東京湾は
見所いっぱい!

「新名所航路」でクルーズを楽しもう!

春はクルージングにぴったりの季節。
 ご家族や友人と一緒に、東京湾の絶景をお楽しみください。



選べるクルーズコース

ランチャタイムクルーズ
 [12:00出航~14:00着岸]

ゴールデンウィーク限定
 トワイライトクルーズ

[16:20出航~18:20着岸]

※運航状況により、入航時間が前後する場合がございます。
 ※運航コースは、予告なく変更となる場合がございます。